

4 進路別中学校卒業生数

(単位:人)

年次	区分	卒業生数			高等学校等進学			就職等		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成22年		329	304	633	320	299	619	9	5	14
平成23年		322	302	624	316	295	611	6	7	13
平成24年		352	302	654	336	297	633	16	5	21
平成25年		321	323	644	311	320	631	10	3	13
平成26年		301	287	588	288	284	572	13	3	16
平成27年		316	266	582	314	261	575	2	5	7

(注)各年3月31日現在

資料:教育委員会指導課

5 高等学校

(単位:級,人)

区分	学級数	生徒数			教員数			1学級当たり	教員1人当たり	
		総数	男	女	総数	男	女	生徒数	生徒数	
総数	全日制	51	1,985	805	1,180	181	112	69	38.9	11.0
水海道一高	全日制	21	839	440	399	65	43	22	40.0	12.9
水海道二高	全日制	18	714	184	530	54	31	23	39.7	13.2
石下紫峰高	全日制	12	432	181	251	62	38	24	36.0	7.0

(注1)平成27年5月1日現在

資料:各高等学校

(注2)石下紫峰高の教員数は本務者+兼務者

中学校卒業後の状況(茨城県)

平成26年3月の中学校卒業生数は28,209人(男子14,540人,女子13,669人)で,前年度より383人減少している。卒業生の進路は,高等学校等進学者が27,794人(全卒業生の98.5%),専修学校(高等課程)進学者が57人(同0.2%),専修学校(一般課程)等入学者が18人(同0.06%),公共職業能力開発施設等入学者が15人(同0.05%),就職者(進学又は入学して就職している者を除く)が89人(同0.3%)となっている。

茨城県「平成25年度茨城の学校統計 学校基本調査結果報告書」より

急速に減少する児童・生徒

人口の少子化の進展に伴って,児童・生徒数は1980年代末以降,教育段階ごとに順次減少期に入り,今日まで減少の一途をたどっている。2005年以降の推移を将来推計人口によって見ると,幼稚園人口に相当する3~5歳の人口は2005年の351万人から2030年には215万人に,義務教育人口に相当する6~11歳,12~14歳の人口は,2005年ではそれぞれ718万人,362万人であったが,2030年には450万人,240万人に減少すると見られる。さらに,高等学校年代も同様に383万人から254万人に減少するとされている。

(財)日本統計協会「統計でみる日本2012」より